古武鑑古江戸圖目錄　單

A 10
209

東京帝國大學圖書印
B 23475
A10
209.

江戸鑑圖目録

帝國圖書館寫本
大正四年二月寫之

江戸鑑圖目録

酉山堂筆記所載江戸鑑四種
江戸屋敷附一巻　大半紙二ツ切横本
序ナシ、巻末ニ板元ナシ、御紋附ナシ
巻末ニ正保二年
初ニ甲府公ヨリ御三家ノ方マテヲ出シ、夫ヨリ諸
大名御旗本入交ニいろは分所附ノミヲ記シ御
紋御道具等ヲノセズ甚ダアラ〳〵トシタルモ
ノナリ
　　抽斎後年此書ヲ得
（万治二年刊行江戸鑑六巻ノ中三四五ノ三

弘前醫官澁江氏藏書記

册いろは分ニシテ此ニ類ス。此本江戸鑑ノ最古ト云フベシ然レ圧屋敷附ニシテ最畧記ナリ、抽齋明暦四年七月刊當家御紋尽ヲ藏ス頗ル古シ

御大名武士鑑 一巻 中本序跋ナシ
慶安四年五月改正
御役人方ヲ不載
（甲府綱重寛文元年封廿五万石。舘林綱義寛文二年任參議。水戸光圀寛文元年嗣。蜂須賀光隆寛文六年卒。松平出羽守直政少將寛文三年任少將、同六年二月卒。上杉喜平次十五万石寛文四年嗣減知十五万石。）
抽齋按右ノ數件ニ依ルニ此本寛文五年頃ノ改正ナリ

御當家分限帳 五巻 半紙本
自一至二 御大名附、 自三至五 御役人附
序跋ナシ、初ニ總目録アリ、二巻ノ末ニ年號アリ、寛文六年丙午卯月吉日 京東六條新屋敷萬町河野角之丞開板

江戸鑑一巻　大半紙三ツ切横本

初十一丁脱張、十二丁目ハ諸大名御隠居方ナリ、次ニ御紋アリ十三丁目ヨリ武士鑑ナリ思フニ初十一丁ハ公家衆知行高附ナルベシ御大名附ノ次ニ交代御旗本五丁アリ、夫ヨリ御役人附ナリ、承應元年十月改正、按ニ綱豊卿ハ寛文二年四月廿五日ノ御誕生徳松君ハ延寶五年四月八日御誕生ナリ、左スレバ此本ハ年号ヲ改メズシテ出タルモノト見エ、延寶ノ末カ天和ノ初ノ頃ノ改正ナルベシ

館林徳松延寶八年五月嗣、翌年為世子、御老中稲葉美濃、土井能登、大久保加賀、堀田備中、板倉内膳。延寶八年九月板倉内膳正重道為西老中、天和元年二月土井利房免

抽斎按右件ニヨルニ此本延寶八年九月ヨリ翌年二月マデノ間ノ改正ナリ

江戸鑑六巻　大半紙二ツ切横本

第一欠　諸大名ナラン。第二諸國御奉行、御小姓組西番頭、御旗本諸役人、大番西番

頭、御書院内番頭、御老中方。第三壱万
石以下屋敷附、いろはにほへとちりぬるを
わか。第四同よたれそつねならむうゐの
おく。第五同やまけふこえてあさきゆめ
みしゑひもせす。第六御童坊、儒者、寺
社町人、医師、猿楽。二ノ末ニ万治二己
亥極月日

江戸屋敷 五巻 大半紙二ツ切横本、板元ナシ
第一御公家分限帳。第二三欠 至五御大名
内横本いろは分、首ニ石高、肩書ニ領所、
役附、下ニ屋敷ヲ記ス。寛文七年未十月吉
日板本京東六條新屋敷河野角之丞
拙齋後ニ此ヲ得

○拙齋蔵目録 武鑑部

朱書依酉山堂所記

當家御紋尽 一巻 中本有跋
明暦四歳七月吉日新板
翻彫ノ明暦本一種版心ノ年号ヲ削去テ末ノ半張
ニ寛文九己酉初春吉松會開板ノ十二字ヲ鏤加

ヘメルモノアリ

失題名一巻　中本明暦本大同
家大人定所先生手抄本
萬治二三年際

御當家分限帳五巻　中本
巻二以下缺　定所先生手抄本
寛文三癸卯年發行
京東六條新屋敷萬町河野角之丞開板

江戸鑑一巻　横小本
万治以上以下悉載、御持槍圖、有目録及跋

寛文十三年壬卯月吉日、日本橋南二丁目經
師屋加兵衛

御紋鑑一巻　中本　有跋
初半葉缺無年月
寛文十三年即延寶元年、通油町　問屋開版

諸大名御紋盡一巻　中本　有目録
与前本大同但此本載鎗圖
延寶二甲寅年孟春吉日　松會開板

江戸鑑一巻　横小本
万治以上以下悉載、与寛文十三年江戸鑑大

同小異ハ有目録諸大名御隠居衆

延寶四年　　京寺町通三條下ル西側　堺屋庄兵衛

欄外　懐中　新改江戸鑑　全

按西山記スル所ハ京師ノ板本故首ニ公卿ノ御紋石高ヲ載セタル趣ナリ、然ルニ其載セタル跋文ヲ見ルニ前ノ寛文十三年江戸鑑ノ跋文ト全ク同ジ、然ラバ江戸ノ原板ヲ京師ニテ翻刻シタルモノナルベシ吾藏本ハ仍テ江戸ノ刻本ニ似タリ

正極江戸鑑二巻　横中本

上巻万石以上欠

延寶六年　　日本橋南二丁目經師屋加兵衛

太平江戸鑑二巻　横小本

上巻欠、今延寶四年江戸鑑大同小異、末附江戸名所圖橋尽町尽し

延寶九年酉八月吉日

江戸鑑大全二巻　小本

下巻万石以下欠

貞享二年七月

書林　大傳馬三町目　表紙屋七右衛門開版

書林大傳馬

丙寅江戸鑑一巻　小横本
貞享三年

失題名一巻　横本　万石以上
元禄二〔元〕年正〔十二〕月際

太平武鑑二巻　横本
下巻万石以下欠
江戸方角見量圖
元禄五壬申年　江戸日本橋南一町目　書肆一寸原
茂兵衛

本朝武系當鑑　横本　万石以上欠

元禄五年

東武綱鑑四巻　横本　（[illegible]）
元禄十三年春　東都書林千鐘堂

本朝武林系禄圖鑑四巻　小本
今世流布本體式昉于此　（[illegible]）
元禄十丁丑歳　書林松會　御書物所長谷川町
松会三四郎

失題名四巻　小本
元禄十六年　武江日本橋南一丁目　書林須原
茂兵衛　蔵板

失題名一巻　横小本
万石以上累載、今世累武鑑所本
元禄十六年春

江戸鑑一巻　中本
巻首体式都与宝永元年燕雀堂板本同
元禄十六癸未年夏　通油町井筒屋三右衛門
此本原四巻、一十万石以上、二同以下並御
隠居方、三諸役人付、四即此所載

失題名二巻　小本　万石以上零本
宝永元年秋

（東武明鑑）
失題名一巻　小本　万石以上零本
宝永七庚寅年、武陽江府書林日本橋川瀬石
町山口権兵衛

（東武明鑑）
失題名三巻　小本
宝永八辛卯年、武陽江府書林日本橋川瀬石
町山口権兵衛

失題名二巻　小本合一冊　万石以下缺
正徳四年夏

文明武鑑四巻　一四巻缺
享保三年

永世武鑑 四巻
享保七壬寅年 武陽江府書林 日本橋南一丁目
山口権兵衛
諸大名御鉄席一巻 横小本
今世万代宝鑑也藍本
享保十三戊申年改 江戸京橋南四丁目 秋田屋
儀兵衛版、
享保武鑑 四巻
享保廿乙卯年新改正、江府書林、日本橋南一
丁目須原屋茂兵衛蔵版、

延享武鑑 四巻 末巻欠
延享二乙丑年新改正、江府書林日本橋南一丁目
須原屋茂兵衛版
江戸鑑 一巻 中本
無題名姑依跋文題之、巻首云諸大名御城主
並御内室御留守居中下御屋敷西国大名御
船印付海陸道程 (前書と同作)
宝永元甲申年改 武陽牛込燕雀堂平野屋
吉兵衛版
元文書判名乗記 二巻 横本原名無題、写本

万石以上判物名乗 名字 名乗 書 但知行高親并氏位
書本國内室書 以上題簽所記
元文二年

御旗本分限帳一巻 横小本
寛文七年未六月廿五日ゟ未、金杉一丁目本石
久次郎

御馬印一巻
無題名、此書原本寛永十四年刊、題指物揃
明暦二年再板縮刊即此本也、
明暦三丁酉年十月上旬

御屋敷一巻 二冊元無題名 横本
此本首一葉尾二葉缺故不詳年代、今依西
山堂所記直標年号、後得首尾全具本
贈大石氏
正保四年

御紋尽一巻 抄本横本
不題年歴唯題簽記寛永御紋尽後人所
記考、蓋寛永末年所刻而正保慶安間
漸次改彫者
寛永十七年より慶應元年まで追改

屋敷附 廿巻 横本

巻一此公家分限帳、巻二以下此旗本、備大名
此役并屋敷附、巻廿末隠居衆一万石以上
嫡子此書院番衆大番此寄附
寛文七年未卯月吉日 板本 京東六條新町
數波野角之丞

御紋鑑 一巻 中本

森立夫自相模勝瀬郵致贈寄
寛文十三年五月日 與前書全同唯有年号、無
板元姓名

國分武鑑 一巻 横本

原無題名巻首記云御參勤御發足階祿錄鈔
諸國此関所附並用平假名又無刊行年末記
本屋 [上欄小二]

海陸不求人 一巻 横本 首有目録

原題年序依書文考之原、慶安初刻至万治
末追改
慶安元年ヨリ寛文元年マテ追改

知行付 一巻 横本

無題名、附諸役及國民巻首目録缺三張

御紋鑑一巻　小本　失題名
寛文九己酉初春初旬、松會開板
戊辰江戸鑑一巻　横本
序規ハ不曲矩ハ直なり
貞享五年
元禄武鑑大全二巻
諸将御紋尽上下、第三巻缺　第四巻即題
元禄十六年井筒屋三右衛門板者
元禄十六年季夏
癸亥江戸鑑二巻　横中本

上巻諸大名　下巻諸役人自后大老至能太夫
二百十五條　末半葉缺無板元名氏
天和三年
又　合釘為一冊
前本同板末葉有跋語天和三癸亥仲夏日
松會刊行
分限帳一巻
前京都後江戸、載親行寓官位姓名年齢書
時写本、京都ハ始禁裡終七辨、江戸ハ始
紀伊従二位終纏師次三家両典厩家司

攷書中當寛文六年
前歎寅年當是寛文二年

延享武鑑二巻　横中本
無題名、上巻諸大名下巻御役人
延享三丙寅歳江戸神田鍛冶町壱町目燕
泉堂燕屋弥七

江戸案内鑑三巻　横本
御役人名字いろは分ケ　江戸細見ノ図東叡
山聖堂ノ図等ヲ除ク
元禄十二歳仲春日　富長軒可栄序

元禄十七年春大成御江戸圖
旧無年号　今肥定
江戸日本橋南一丁目須原茂兵衛刊行

往古江戸圖
家翁竹未醉先生手抄本

長禄年中御江戸古繪圖
文化丙子刊

慶長年中江戸圖
附考文化十二年楊梅園主人

武州豊島郡江戸庄圖
家藏手抄
又 近代翻刻
武州豊島郡江戸庄圖
家藏手抄寛永九年申十二月開板
正保
明暦
寛文
延寶四丙辰天十一月吉日 表紙屋市郎兵衛板行
延寶七年己未三月上旬 御絵圖所林 以下剥落

江戸方角安見圖二巻
延寶八年申四月吉日、浅草橋通元町表紙屋
市郎兵衛板
元禄三庚午歳初夏中旬
大門通新大坂町板木屋七郎兵衛板
江戸圖鑑綱目二巻
坤圖江戸圖、圖面追改当元禄七年
元禄二年 畫工石川氏俊之 板木相模屋太兵衛
元禄九年 懈澹軒圖之
通油町佐藤四郎兵衛板行

享保十七年歳次子
江戸日本橋南一丁目書肆 須原治右衛門蔵板
寛延中抄本
寳暦中抄本
貞享五年月日 長谷川町山形屋七兵衛
寳永二年江戸案内巡見圖鑑
圖工石川流宣、東陽中本町四丁目 江戸圖林太兵衛
元禄十四年正月江戸大繪圖
遠近道印作
大門通田所町 板屋弥兵衛板

見聞集 写本十巻五冊 三浦浄心作
此書序には慶長十九年とあれども寛永五
巻に元和四年の事を載たり、然らば慶長
は書を作るの初年にして書中には後年
の増添もあるものなるべし
あづまめぐり 写本二巻
柳亭所蔵印本題色音論
寛永二十年作
むさしあぶみ
萬治四年板本二巻

東叡山圖解　原無題号影写　一冊
天和二年板本
紫一本　写本二巻
天和三年遺佚入道作
江戸圖鑑綱目　二巻
元禄二年板本、石川流宣作
この書下巻は即江戸地圖あり
若紫集　一冊写本
元禄十年、源進軒都春作
江戸總鹿子名所大全
元禄十五年板本　六巻八冊
藤田理兵衛作、菱川吉兵衛画
落穂集　写本　十一巻五冊
享保十三年、大道寺友山作
此書後編あり、前編は神君出軍ゟの書也
江戸内めくり　一巻
享保十三年板本、安勝子作
江戸砂子温故名蹟誌　六巻八冊
明和九年板本。享保十七年崔下菴沾凉
作、明和七年丹治政逸校補

江府名勝志　原二巻　下巻缺
延享十三年板本、南陽子藤原之廉作

萬世江戸町鑑　二冊
寶暦十一年板本

江戸塵拾　写本五巻一冊
此書寶暦より明和の初迄の雑話を多く載
たり、明和の初の作なるへし

事蹟合考　写本五巻一冊

東都事蹟合考　写本三冊　原五巻　一二缺
柏崎永以作

新編江戸志　写本十一巻十三冊
懐山子作

四神地名録　写本四冊　原本五冊　四缺
寛政六年古松軒作

江戸往古圖説　写本一冊
寛政十二年大橋方長作

武蔵名所考　四巻
文政七年板本、文化十四年晃嶠陳人作

慶長年間江戸圖考　写本一冊
文化十二年梅花園作

武江披抄　写本七巻二冊
文政元年　南畝子作
武江披抄外編　写本一冊上巻欠
江戸名所図会　巻廿冊
天保三年板本、齋藤月岑作　長谷川雪
旦画
此書もと寛政十二年　斎藤幸雄の編輯せし
をその子幸孝続述し孫幸成に至りて始て
全きものとなし刊行するところはありぬと
序跋に見ゆ

江戸歳事記　四巻五冊
天保八年板本、齋藤月岑作、雪旦画
町鑑　写本四巻二冊
文化元年
耆老物語　写本一巻
元禄二年　陸友入道
歴代炎上鑑　写本四巻一冊　続一冊
町鑑一巻　横本無題名
元文三年